

## 次世代ちばレポ “MyCityReport”実証実験参加自治体募集のお知らせ

平成 28 年 8 月 26 日

国立大学法人東京大学

合同会社 Georepublic Japan

一般社団法人社会基盤情報利活用推進協議会

千葉市

### ■趣旨

市民協働型プラットフォームの必要性が叫ばれている中で、日本国内の千葉市のちばレポ (<http://chibarepo.force.com/>) の事例のように、市民の苦情を受け付けるだけに留まらず、市民サービスの向上や行政の効率化、働き方の改革にまで踏み込む事例まで出てきました。

本取組では、先進的な取組を行ってきた千葉市と全面的に協力し、全国の自治体で利用可能なオープンソースベースの次世代型の市民協働型オープンプラットフォームを目指し、従来のプラットフォームに加え、クラウドサービス、機械学習等の技術を用いて現場の知・市民の知を有機的に組込んだものを約 2 年半にわたり、開発・実証を行っていきます。

そこで本募集では、下記参加条件に基づき、仕様や運用の議論から実証実験にわたり、上記期間中に参加可能な自治体を募集します。ふるって参加ください。

なお、本取組は独立行政法人情報通信研究機構の「ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発」において、「現場の知、市民の知を有機的に組み込んだ次世代型市民協働プラットフォームの開発」の提案を採択頂き（平成 28 年度～平成 30 年度、研究代表者：東京大学・関本義秀准教授）、支援を受けており[1]、実証実験終了後も、システム提供サービスを継続利用するための仕組みも併せて検討していきます（参考資料 1）。

### ■参加条件

次世代ちばレポ”MyCityReport”の構築と実証に関心があり、道路・公園等の公共施設管理関係の部局に協力を得られて検討会に参加できる地方自治体関係者を対象とします。参加頂ける場合は旅費等の支援が可能な場合がありますのでご相談下さい。また、実験期間中は本システムは原則無償で利用でき、実証実験のサポートを行います。

### ■応募方法

- ・応募期間：8 月 26 日～9 月 23 日
- ・10 自治体程度（千葉県内 5 自治体、県外 5 自治体を目安）  
※原則は先着順で、応募者多数の場合は締切日前に締め切る事があります。
- ・連絡先：関本准教授（[sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp)）
- ・10 月中下旬に第一回の検討会を予定し、以降 2～3 か月に一回程度、開催します。

### ■参考 URL

[1] <http://www.nict.go.jp/press/2016/07/26-1.html>

以上